

## 中学2年生のピロリ菌対策事業の成果を国際医学雑誌に発表

横須賀市では医師会と市の連携のもと、令和元年度から市内在住の中学2年生に胃がん予防を目的としたピロリ菌対策事業を実施しています  
本事業について国際医学雑誌への発表を行いました

### 【概要】

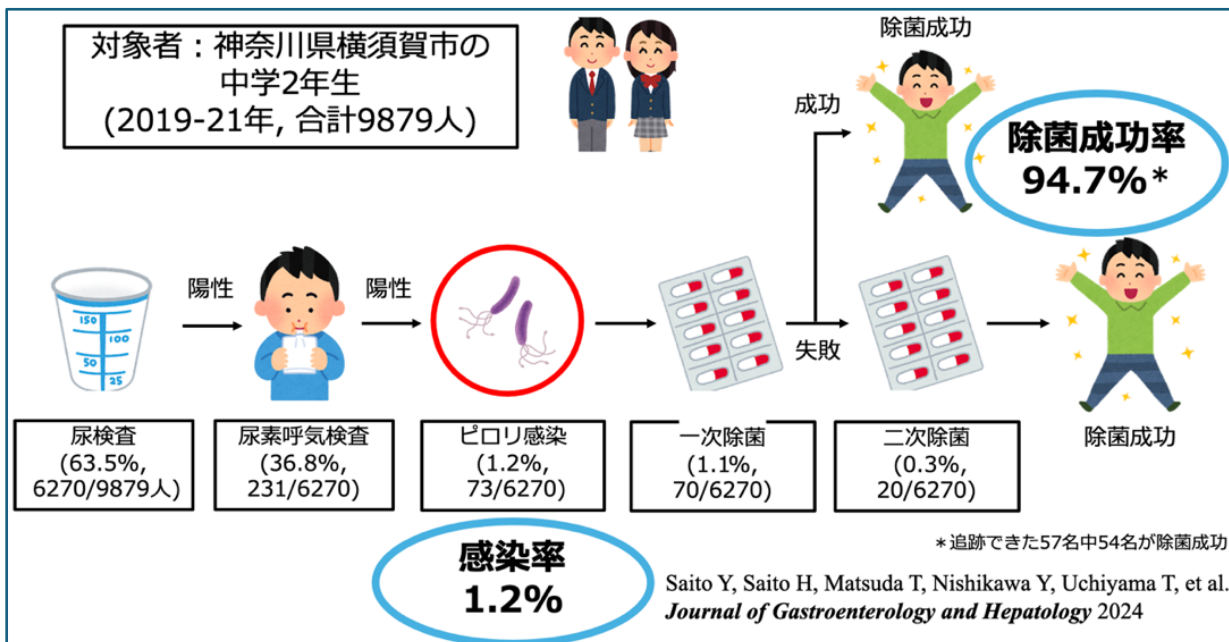
横須賀市中学2年生に対して希望者への検尿(尿中抗体検査)が提供され、陽性者には尿素呼気試験で感染確認が行われました。ピロリ菌陽性の方には抗菌薬による除菌治療が行われました。

2019年から2022年の期間中に対象者の63.5%にあたる、のべ6,270名が検診に参加しました。このうち73名がピロリ菌感染と診断されました(感染率1.2%)。1次治療の除菌成功率は52.9%であり、1次・2次治療を含めた除菌成功率は94.7%でした。

副作用は数日で軽快する軽微なもののみであり、1次除菌では27%、2次除菌では22%に報告され、下痢が最多でした。ピロリ菌陽性であった方のアンケート調査では48.5%で家族(父母・兄弟・祖父母)のいずれかがピロリ菌感染と確認されたことがあると判明しました。

### 【総評】

横須賀市医師会は横須賀市と定期的に会合を開催し、ピロリ菌対策事業の維持改善に努めています。今回の分析では効率的に高い成功率で治療を実施したことを明らかにしました。現在は参加率向上の課題に取り組み、2024年度には対象の約9割の方が参加されています。事業の検証/分析、発信を通じ、より効果的な胃がん対策の取り組みを目指します。



【掲載に関する詳細】

国際医学雑誌への発表にあたっては、福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座、仙台厚生病院の医師と共同で分析、原稿の執筆を行いました。

英文タイトル：Helicobacter pylori Screening and Eradication in Junior High School Students in Yokosuka, Japan: Prevalence, Eradication Rates, and Challenges

掲載雑誌：Journal of Gastroenterology and Hepatology 誌 2025 年 10 月号

論文の URL： <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/jgh.70067>

著者：齊藤良佳<sup>1</sup>、齋藤宏章<sup>2</sup>、松田知己<sup>1</sup>、西川佳孝<sup>3</sup>、内山大雅<sup>2</sup>、松本智紘<sup>2</sup>、坪倉正治<sup>2</sup>、遠藤千洋<sup>4</sup>、松岡幹雄<sup>4</sup>、三屋 公紀<sup>4</sup>、水野靖大<sup>4</sup>

主な所属施設：<sup>1</sup> 仙台厚生病院消化器内科、<sup>2</sup> 福島県立医科大学放射線健康管理学講座、<sup>3</sup> 京都大学大学院医学研究科社会医学系専攻健康管理学講座、<sup>4</sup> 横須賀市医師会